

● がんに関する相談支援と情報提供

施策 (手段)	アウトプット指標 (手段の達成度を見るものさし)	中間アウトカム (中間成果)	指標
1. がん患者相談支援センターの設置 がん相談支援センターの設置 がん相談支援センターの設置 がん相談支援センターの設置	相談室の入り口 入居率 入居率 入居率	患者と家族が必要とする最新情報が正しく提供されている	「必要な治療・副作用・合併症とその対処に関する情報が十分得られた」と回答した患者の割合 「患者が必要としている情報を提供できている」と回答した看護師の割合
2. 相談支援に関する専門職者の養成 相談支援に関する専門職者の養成 相談支援に関する専門職者の養成	C.N.の存在 相談室の存在 相談室の存在	活用されやすい相談支援体制が実現している	相談したいことがあった患者が「相談できる環境があると感じた」と回答した割合
3. 相談支援体制の構築 相談支援体制の構築 相談支援体制の構築	相談室のあり方 相談室のあり方 相談室のあり方		

分野アウトカム (分野別成果)	指標
*患者の不安や悩みが軽減されている	「がんが診断されたことによる心配や悩みが、情報や支援によって軽減または解消された」と回答した患者の割合 「自分らしい生活が送れている」と回答した患者の割合

- がん相談室のPR
- 相談室のPR
- 相談室のPR
- 相談室のPR
- 相談室のPR

【ワーク用のアウトカムと指標の作成方法(説明)】
国の第2期がん対策推進基本計画とその進捗管理指標一覧をもとに、インターネット上で公開されている都道府県のがん対策ロジックモデルの内容も参考にし、事務局でマップ化を試みた。指標については数が多いため、今回のワーク用として、包括性の高い指標を選択して記載。
※は、ロジックモデルのバランスの補完の観点から、事務局にて追加